

軽 度 害 認 知 障

# 9割以上の確率で発見

## 庄内余目病院が新型スケール

庄内余目病院（山形県）はこのほど、認知症早期発見プログラム（MCI-ES）を開始した。これは質問型の簡易スケール（尺度）で、従来のスケールでは見逃しやすかった軽度認知障害（MCI）を9割以上の確率で発見することが可能。認知症を早期発見し、早くから介入することで症状の進行を遅らせることが狙いだ。今後、同院は健康診断のオプションとしてMCI-ESを組み込む考え。



質問に答えるだけのスクリーニング法で、所要時間は15～30分。結果はすぐに出る

これらの測定法は認知症の前段階であることが多い。MCIを見逃しやすいため、「認知症は、早期介入することで発症を抑えたり、悪化を遅らせたりすることが可能です」と、同院の野末院長は早期発見の重要性を指摘する。

MCI患者さんのうち約70%は進行性の認知症であり、アルツハイマー型認知症への転化率は年約15%という報告もあることから、同院はMCIをスクリーニング（選別）

する能力が高いMCI-ESを開始した。

MCI-ESは、質問形式で15～30分程度の時間をかけて認知度をチェックする。回答をオンラインでデータシステムに送信すると、解析結果（スコア）とレポートが送られてくる仕組みだ。費用は税込3675円（標準価格）。

471人を対象とした米国カリフォルニア大学での研究によると、MCI-ESは感度（疾患をも

つ患者さんを正しく陽性と判断できた症例）94%、特異度（疾患のない患者さんを正しく陰性と判断できた症例）89%であり、見逃しリスクが小さい。

また、MCI-ESは米国が開発した英語によるスクリーニング法であるため、日本語でも同程度の信頼性を担保できるかが焦点だったが、52人の日本人を対象とした福岡大学の研究で感度が96%、

特異度は100%という結果が出た。これにより日本人に対しても有用であることがわかった。

同院では、MCI-ESで単なる物忘れと認知障害とをスクリーニングし、陽性の患者さんには改めてMRI（磁気共鳴画像診断装置）などを用いた検査を実施、認知症の有無や種類を診断する。

経時的な変化を観察するため、同院は今後、M

### 東 会 院 帆 州 札 徳 病 定期購読誌など電子化 臨床と研究の両面に寄与

札幌東徳洲会病院はこのほど、医学系の定期購読誌と書籍を電子化した。

以前よりも格段に閲覧可能な雑誌・書籍が増えたため、臨床と研究の両面に寄与。また、電子化により年間34万円の経費削減につながった。

電子化を推進した八戸大輔・循環器内科医長は、そのメリットとして①多くの論文が閲覧可能、②即時性が高い、③研究論文執筆時の手間を削減——を指摘し、「今は臨



「電子化した雑誌の内容がすぐわかるように、目次だけA4用紙に打ち出し雑誌ラックに置いてあります」と八戸医長

CII-ESを健診のオプションとして組み込み、毎年、受診を促す考え。受診の意義を周知させるため広報活動も展開中だ。

担当者の井上綾保健師は、「これまでの受診者はすべて高齢の方でしたが、口コミで徐々に若い方にも広がってきています」と、手応えをつかんでいる様子。同院では、55歳以上の受診を勧めている。

く時代です」と力説。それだけに、調べたいことをすぐに確認できる電子媒体の意義は大きい。

同院が契約した電子メディアサイトは、主に英雑誌・書籍を扱う「クリニカル・キー」と主に和雑誌を扱う「メディカルオンライン」、「メディカルファインダー」、「南江堂」だ。希望誌だけでなく、各サイトが扱う雑誌類すべての閲覧が可能で、たとえばクリニカル・キーは雑誌500誌と教科書1000冊、メディカルオンラインは雑誌877誌に加え医薬品の添付文書とその参考文献も読むことができる。

同院では、英雑誌の閲覧IDを医師全員とその他の部署に2つずつ配布し、和雑誌は院内のネットワーク環境下なら誰でもアクセスできるようなにした。

術のほうが多かったが、その後、希望者が増えたことで昨年は手術の約6割が半置換術だった。

異センター長は「膝が痛くて自由に外出できない患者さんたちに、もう一度自分の足で歩き回れる自由を取り戻し、生活を楽しんでいただくことを生きたい」と、これからの患者さんのために取り組んでいきます」と意気込みを語っている。

## 湘南鎌倉総合病院 異・人工関節センター長

### まずメス入れず治す

湘南鎌倉総合病院人工関節センター（神奈川県）では、膝関節治療の第一人者である異一郎センター長を中心に、できるだけ患者さんの身体に負担の少ない治療法に取り組み、大きな成果をあげている。



異センター長（後列右から2人目）とスタッフたち

同センターの主な診療対象は変形性膝関節症という疾患。膝の軟骨がすり減り、骨同士が直接ぶつかり合っただけで微細骨折が生じることにより、膝に激痛が走る。進行すると歩くことも難しくなり、患者さんのQOL（生活の質）は著しく損なわれてしまう。同症により何

らかの治療が必要な患者さんは国内に約700万人もいるとされる。

異センター長は「私の最大の目標は、膝にメスを入れないで治すことです」と言い切る。まず行うのは、手術をせずに痛

## 手術はできるだけ身体負担減

みを取り除くことを目指す保存療法だ。①減量、②大腿四頭筋の訓練、③歩き方の矯正——の3つを3カ月から半年間続けるといふもの。

全国の医療機関から「手術を」と紹介されてきた患

体への負担を低減する術式を選ぶ。できるだけ膝関節の半分だけを人工関節に置き換える半置換術（UKA）を選択。前十字靭帯を損傷するなど状態が悪く、やむを得ない場合は膝関節をすべて置き

換える全置換術（TKA）を行う。半置換術は、自分の関節を半分は残すことができると、自然な感じで膝をよく曲げることができると好評だ。

いづれの手術でも筋肉をいっさい切らない最小侵襲人工関節置換術（MIS）を全例で実施。傷口が小さく出血が少ないため、多くのケースで半置換術なら術後5日目、全置換術は術後10日目に自宅へ退院が可能だ。大腿四頭筋を切る従来の全置換術では術後約3週間は入院する必要があった。2年程前までは全置換

術のほうが多かったが、その後、希望者が増えたことで昨年は手術の約6割が半置換術だった。

異センター長は「膝が痛くて自由に外出できない患者さんたちに、もう一度自分の足で歩き回れる自由を取り戻し、生活を楽しんでいただくことを生きたい」と、これからの患者さんのために取り組んでいきます」と意気込みを語っている。

術のほうが多かったが、その後、希望者が増えたことで昨年は手術の約6割が半置換術だった。

異センター長は「膝が痛くて自由に外出できない患者さんたちに、もう一度自分の足で歩き回れる自由を取り戻し、生活を楽しんでいただくことを生きたい」と、これからの患者さんのために取り組んでいきます」と意気込みを語っている。

**ペアール徳洲会 受講生募集！ 介護職員の初任者研修**

カルチャースポーツセンターのペアール徳洲会（鹿児島県）は、介護職員初任者研修の受講生を募集している。介護職員初任者研修とは、4月1日に廃止された訪問介護員（ホームヘルパー）2級に代わる資格のことで、介護職のキャリアパス（養成計画）の基礎となる。

永山イト子・事務担当者は、「徳洲会グループ全面支援の下、医療から介護・福祉の流れを把握することができます」と、同研修の特徴を強調。修了者には就職先の斡旋も行っている。

**募集要項**

- 取得資格：介護職員初任者研修修了者
- 対象者：高校生以上
- 募集人数：20人
- 費用：9万円（テキスト代含む）
- 研修期間：5月7日～7月22日（130時間）
- 募集締め切り：4月30日（必着）

**問い合わせ先**

ペアール徳洲会総務課  
鹿児島県鹿児島市  
谷山中央2丁目675  
☎ 099-260-8888

「せいじつぱい利用して診療に生かしたい」と意欲を見せている。

長でもある八戸医長は、

**利用者さんに大きな夢を**

神奈川県厚木市で竣工式

有料老人ホーム「グランレーヴ厚木」の竣工式が4月6日、神奈川県厚木市で行われた。敷地面積1,808㎡、延床面積2,874.01㎡の5階建てで、居室総数は73室、定員73人。

神事後の祝宴会では、施主であるケアネット徳洲会の徳田恵子社長が「施設名はフランス語のグラン「大きな」、レイヴ「夢」からとりました。高齢者の方々の大きな夢がかかなう場所でありたいと思います。また、徳洲会の徳田虎雄理事長からはALS（筋萎縮性側索硬化症）患者さんに少なくとも3人入ってもらおうようにとされています」と挨拶した。

湘南厚木病院（神奈川県）の篠崎伸明院長は、「24時間、365日バックアップしていきます。健康増進と安心できる施設づくりに協力するため、5月からは訪問診療を始めます」と語った。

同施設では入居者を募集中。利用料は入居一時金50万円（60カ月均等償却）の場合は、月額利用料（家賃、管理費、食費、水光熱費）17万4,500円。入居一時金なしの場合の月額利用料は18万2,800円。介護保険1割分負担と医療費は別途必要。自立の方は、別途生活サポート費3万1,500円が必要。

問い合わせ先は  
**グランレーヴ厚木(0120-615-515)**